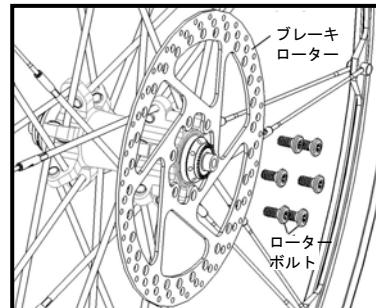


# ツインペアスプークホイール取扱説明書

## 保証規定

クランクブラザーズのツインペアスプークホイールは製品の欠陥について購入後1年間保証いたします。保証は本製品の修理交換にのみ限定いたします。この保証は使用者の間違った使用による損傷には適用されません。問題が発生した場合は速やかに購入した販売店へご相談下さい。保証の適用には必ず販売証明書(レシート等)が必要になります。このツインペアスプークホイールはディスクブレーキ専用です。リムブレーキの使用はできません。必ず互換性のあるローター、ローターボルト、キャリパーを使用して下さい。



## A. ローター取り付け方法

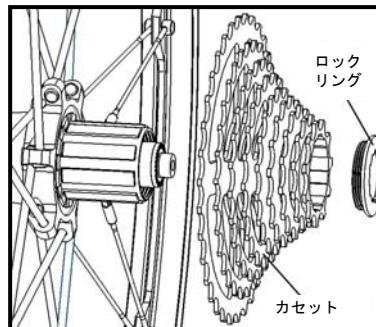
ローターに付属している6本のボルトを使用して下さい。6本のボルトを均等に6.5Nm(55インチ・ポンド)の強さで締め込んで下さい。

## B. スプリットクリックリーススキュワー

スキュワーに同梱されている取扱説明書をお読みの上、適切に取り付けて下さい。

## C. カセットプロケット取り付け方法

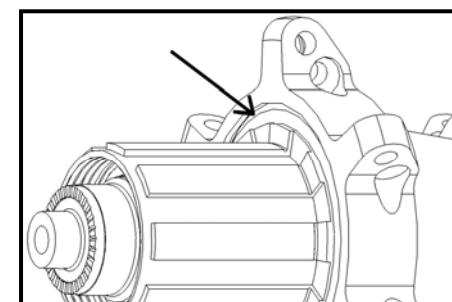
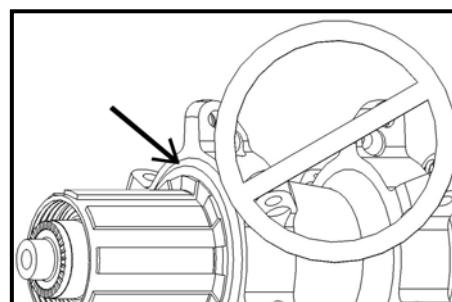
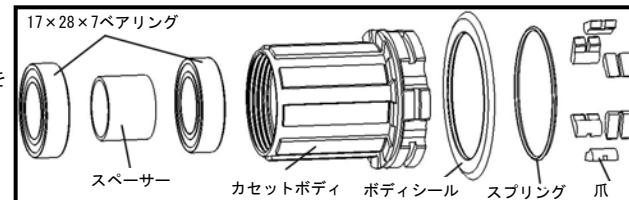
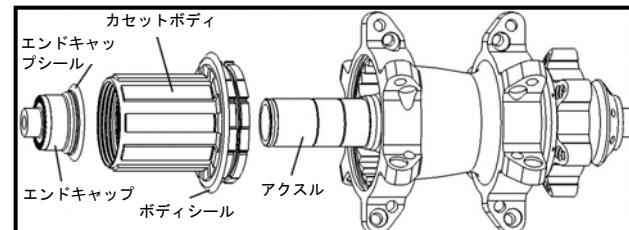
カセットをフリーボディの溝に合わせて取り付けます。ロックリングと変速段数に対応したワッシャーはカセットに同梱されている物を使用して下さい。ロックリングをはめ込み(必要に応じてワッシャーを使用して下さい)適切な工具で30~50Nm(260~434インチ・ポンド)の強さで締め込んで下さい。



## D. カセットボディの取替え

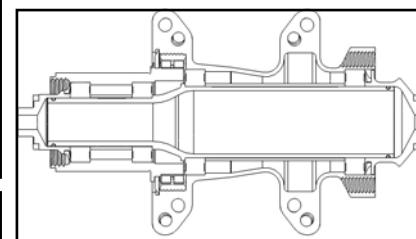
エンドキャップを取り外してカセットボディ全体を取り外します。通常のメンテナンスは古いグリスを取り除き、中粘土の新しいグリスをラチェット部分に塗布します。カセットボディを押し入れてエンドキャップに戻します。  
重要: カセットボディは必ず正しい位置から挿入して下さい。ハブシェルの溝に合わせて正確に挿入すると、ボディシールがハブボディに密着します。

さらに詳細なメンテナンスにはラチェット部分をスプリングとボディシールに分解します。さらに2つのカートリッジベアリングとスペーサーを押し出して清掃します。組み立てではスプリングを先に入れてからそれぞれの爪を入れます。次に最初のベアリングを入れてから、スペーサーを置いて、2個目のベアリングを挿入します。組み立て終了後は下図右のようにシールがしっかりと中にいる事を確認して下さい。

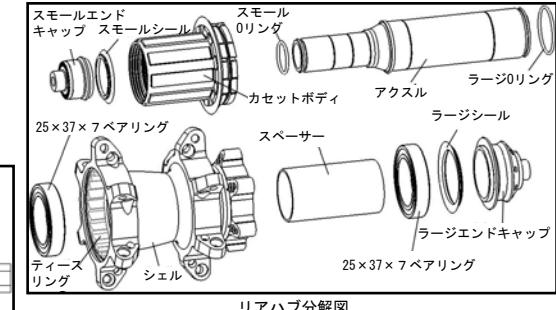


## E. リアハブの構造

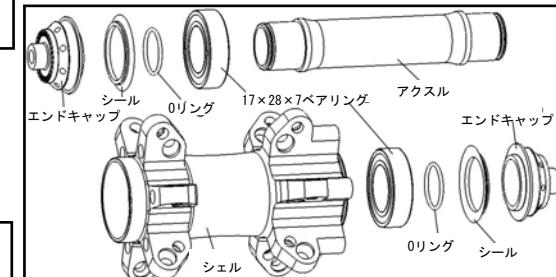
右図はリアハブの分解図です。すべてのツインペアスプークのリアハブは図のようになっています。下図はリアハブの横断面構造です。



リアハブ横断面図



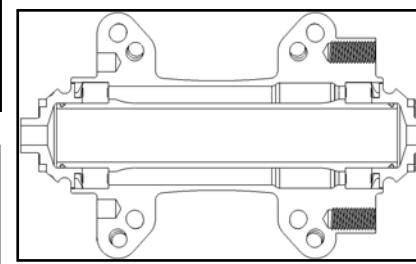
リアハブ分解図



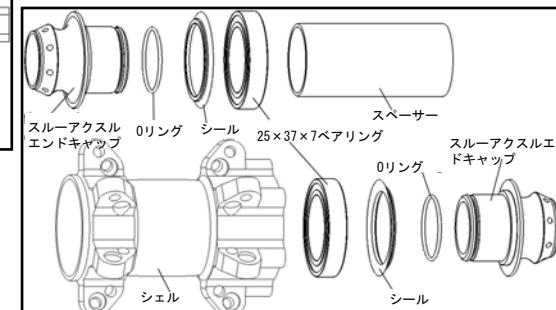
コバルト・フロントハブ分解図

## F. フロントハブの構造

右図はコバルトフロントハブの分解図です。下図はフロントハブの横断面構造です。



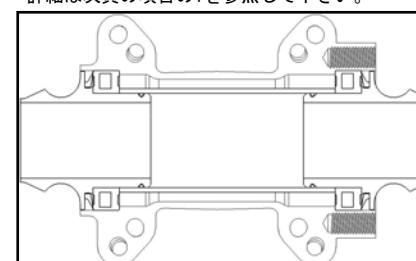
コバルト・フロントハブ横断面図



アイオライン・フロントハブ分解図

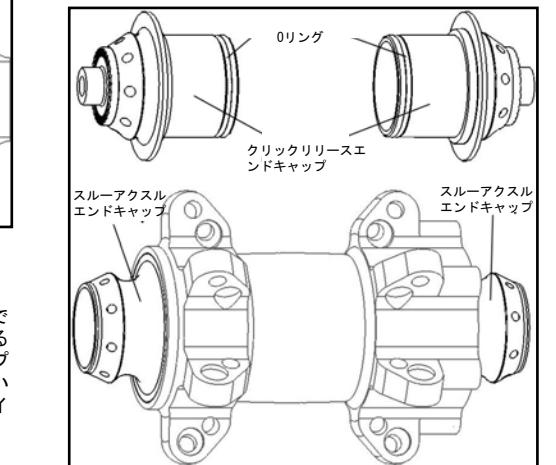
## G. フロント20mmアクスルの構造

右図はアイオラインのフロントハブ分解図です。下図がフロントハブの横断面構造図です。詳細は次頁の項目の1を参照して下さい。



アイオライン・フロントハブ横断面図

**H. アイオラインハブエンドキャップ**  
右図は20mmスルーアクスルのアイオラインハブです。アイオラインはエンドキャップを変更することでクリックリースにも対応します。キャップを変更するには、手でエンドキャップを引き抜いて、シールが正確に入っている事を確認してクリックリース用のエンドキャップを挿入します。詳細は次頁の項目の1を参照して下さい。



アイオライン・フロントハブエンドキャップ説明図

## I.アイオーダインフロントスルーアクスルハブ

アイオーダインのハブはクイックリリースキューワーの代わりに20mmのスルーアクスルを使用します。

スルーアクスルは使用するフォークに付属の物を使用して下さい。フォークメーカーの説明に従って適切に取り付けます。

トルク管理など詳細な資料が無い場合はフォークメーカーに問い合わせて下さい。

フォーク、ハブ、スルーアクスルが適正に組み付けされた事を確かめてから走行して下さい。

## J.スポーク組み付け方法

step1 ベアになっているスポークヘッドから平らな突起が出ている事を確認します。スポークの平らな突起部は必ず垂直リブに接触しないければなりません。

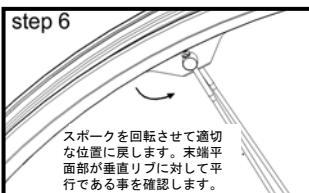
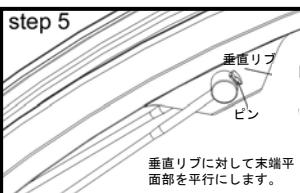
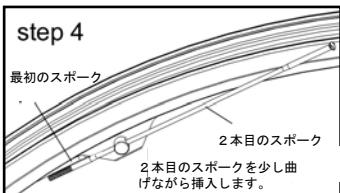
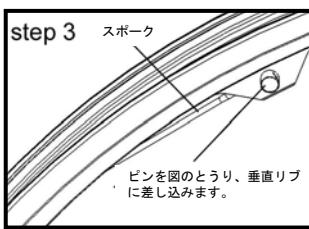
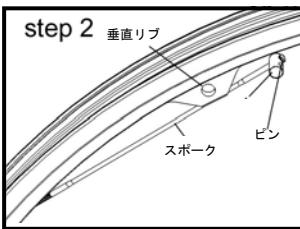
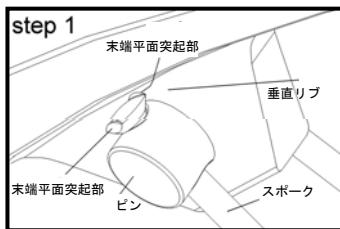
step2 ピンに最初のスポークを通します。

step3 垂直リブの穴にスポークピンを差し込んだ時に、スポーク末端平面部が垂直リブと平行になっている事を確認して下さい。

step4 反対側の2本目のスポークを少し曲げながら、1本目のスポークピンへ挿入します。垂直リブに対してスポークが平らになっていることを確認して下さい。

step5 2本のスポークが垂直リブと平行になるようにします。

step6 ピンを回転させて適切な位置にスポークを戻します。再びスポークピンの末端平面部が垂直リブに接触している事を確認します。3.23mm (0.127インチ) のニップルレンチで反対側のニップルを締めこみます。



## スポークテンションチャート

モデル	スポーク	(F) ドライブ側	(F) ノンドライブ側	(R) ドライブ側	(R) ノンドライブ側
Cobalt	1.6mmバテッド	1180N(118kgf)	1450N (145kgf)	1450N (145kgf)	1050N (105kgf)
Iodine	1.8mmバテッド	1030N (103kgf)	1420N (142kgf)	1580N (158kgf)	1130N (113kgf)
Opiu	2.0mmストレート	1220N (122kgf)	1600N (160kgf)	1600N (160kgf)	1600N (160kgf)
Sage	2.0mmストレート	1220N (122kgf)	1600N (160kgf)	1600N (160kgf)	1600N (160kgf)

## K.スポークの取り外し方

スポークを取り外すためにはベアになっている両方のスポークを緩めます。step5のようにスポークを横に向けてスポークを引き抜きます。

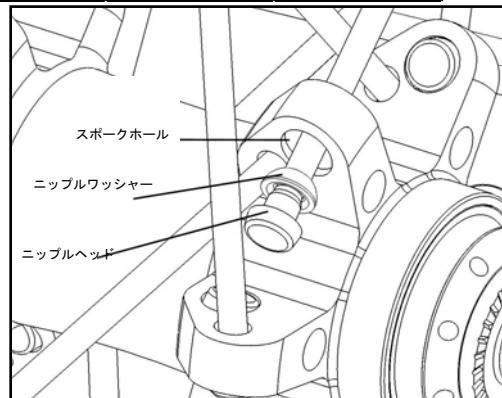
## L.ニップルの取り替え方

step1 3.23mm(0.127インチ) のニップルレンチを使用してニップルを緩めます。

step2 ニップルを取り除きます。ニップルの先端に小さなワッシャーが入っている事を確認します。

step3 交換用のニップルを準備します。先端にワッシャーが入っている事を確認して下さい。

step4 ニップルを適正に締めこみます。



## M.一般的な保守と点検

スルーアクスルはホイール(組みつけられているハブの幅と直径)、フレーム、フォークそれぞれに適合する物を取り付けて下さい。組みつけに関しては経験豊富な専門的な知識を持つ販売店のチェックを必ず受けて下さい。スポークのテンションとハブの回転は乗車毎にチェックします。スポークの緩みすぎや締め込みすぎはホイールに負荷を与え、破損する恐れがあります。全てのスポークテンションは出来る限り均等に組み付けます。表面上変形した箇所を見つかった場合は乗車せず、すぐに販売店に相談して下さい。ホイールの回転がスムーズな事を確認し、リアハブのラチェット音が一定の調子で鳴っている事を確認して下さい。

異常を見た場合は販売店に相談して下さい。

## N.タイヤキャビティ

幅	1.9"	2.0"	2.1"	2.2"	2.3"	2.4"	2.5"	2.6"	2.7"	2.8"
48.5mm	51mm	53.5mm	56mm	58.5mm	61mm	63.5mm	66mm	68.5mm	71mm	
cobalt										
iodine										

すべてのホイールはビードの直径が559mmで26インチのタイヤ用に設計されています。空気圧はタイヤの推奨に従って下さい。

## 警告：ツインペアスポークホイールを取り付け、乗車する前に必ず読んで下さい

・本説明書を組みつけの前に全て読んで下さい。説明書と警告に従わない場合重大な怪我および死亡する場合があります。不適切な組み付け及び使用は重大な怪我の可能性があります。スポーツバイクの乗車は危険が伴います。

・スプリットクイックリースの取扱説明を十分に読んで下さい。不適切な使用はによってホイールが組みつけられていない場合、重大な怪我および死亡する場合があります。

・使用前に必ずホイールにへこみや割れ、スポークのゆるみが無いか確かめて下さい。損傷のあるツインペアスポークホイールは使わないで下さい。不適切な組み付け、改造、異常のあるホイールには乗車しないで下さい。乗車毎に異常か無いかチェックをして下さい。各部品が損したり磨耗している場合は至急修理か交換をして下さい。スポークの緩み、締めこみすぎ、曲がり、傷は思いもよらない事故の可能性があり、重大な怪我および死亡する場合があります。純正品以外のスポーク、ニップルは使用しないで下さい。

・ホイールを組み付けた後はブレーキが正常に作動するか常にチェックして下さい。ツインペアスポークはディスクブレーキ専用です。リムブレーキは使用しないで下さい。適合するローター、ローターボルト、キャリパーを使用して下さい。使用するディスクブレーキの取扱説明書を十分に読んで組み付けして下さい。

・スプリットクイックリースの組み付け、使用に疑問がある場合はお買い上げになった販売店で使用方法を確認して下さい。何か質問や不安がある場合は販売店に相談して下さい。

・スプリットクイックリースはホイールの取り外し、組みつけに使用します。不適切な使用は走行中にフレームからホイールが外れる可能性があり、重大な怪我および死亡する場合があります。このスプリットクイックリースは適合するハブおよびフォーク、フレームだけに使用して下さい。乗車前に必ず適正に組みつけられている事を確認して下さい。

・スプリットクイックリースは適切に組み付けた後でも定期的に点検、調整が必要です。とくに自転車を不特定多数の人が触れる場所に駐輪した後は必ず点検して下さい。点検しない場合は重大な怪我および死亡する場合があります。

・スプリットクイックリースは出来るだけごみや泥の無いところで保管して下さい。乗車中の重大な事故を防ぐために乗車したバイクのすべてのパーツを点検して下さい。

・スプリットスキュワーの詳細な情報は販売店にてご相談下さい。常にヘルメットを被り、道路交通法に従い乗車して下さい。薄暗くなってきた場合はヘッドライトとテールライトを使用して下さい。

・ホイールの洗浄に薬剤は使用しないで下さい。高圧洗浄器は絶対に使用しないで下さい。

・リフレクター、ホイールプロテクターは別売りです。

・最初の乗車から1000km走行した時点で販売店でスポークテンションの調整を受けて下さい。

・補修にはクランクプラザーズ純正部品を使用して下さい。

・タンデムバイクには使用しないで下さい。

・リムテープは使用しないで下さい。

・それぞれのホイールの使用目的に応じた使用をして下さい。想定された以上に激しい乗車はしないで下さい。コバルトはクロスカントリーレース向け、アイオーダインはオールマウンテン向けに設計されています。もし設定されている基準以上の激しい乗り方をする場合はそれに見合った別のホイールを選択して下さい。

・アイオーダインは使用する前にスルーアクスルが適切に締めこまれて、損傷が無いかを点検して下さい。ホイールが外れて重大な怪我および死亡する場合があります。

**RITeway**  
PRODUCTS JAPAN

ライトウェイプロダクツジャパン株式会社  
東京都豊島区南池袋3-18-34池袋シティハイツ102

TEL 03-5950-6002 FAX 03-5956-8028

<http://www.riteway-jp.com>